



六郷地域学校規模適正化検討協議会ニュース



第2号

平成 27 年 3 月
教育政策課

第2回六郷地域学校規模適正化検討協議会が3月4日(水)に開催されました。

中期計画と今後の統合再編の方針について

計画期間が平成23年度から平成25年度までである中期計画では、「並松小学校、吐山小学校、六郷小学校は過小規模であり、今後も過小規模が継続するようであれば、都祁小学校を含めて統合再編等を検討する」としていました。中期計画の3年間で、並松小学校では児童数が64人から59人に、吐山小学校では58人から45人に、六郷小学校では68人から56人に児童数が減少しました。

今後は、検討協議会で示しました「都祁中学校区の適正化実施計画」にあるように「平成26年5月現在、奈良市立並松小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模であり、一部の教育活動に支障をきたしている。平成27年度においても全校児童数は奈良市立並松小学校(54名)・吐山小学校(37名)・六郷小学校(34名)の見込みで、過小規模の状態が続くことが予想される。集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から、都祁小学校を含めて平成29年4月を目途に統合再編を行う。統合先は、都祁小学校又は都祁中学校の敷地内を候補とし、1小1中の小中一貫教育を実施する。」とする方針により進めてまいります。

都祁地域4小学校の平成27年度予定児童数、29年度児童数推計

平成27年度予定児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数	学級数	複式学級の有無
並松小	4	14	8	13	6	9	54	6	無
都祁小	15	18	14	20	18	26	111	6	無
吐山小	7	6	6	4	7	7	37	4	2年・3年、4年・5年
六郷小	4	8	4	4	7	7	34	4	2年・3年、4年・5年

平成29年度児童数推計

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数	学級数	複式学級の有無
並松小	10	6	4	14	8	13	55	5	2年・3年
都祁小	18	12	15	18	14	20	97	6	無
吐山小	3	5	7	6	6	4	31	4	2年・3年、4年・5年
六郷小	7	7	4	8	4	4	34	4	2年・3年、4年・5年
統合小	38	30	30	46	32	41	217	9	無

※複式学級：小学校1年生を含む学級にあつては、6人以下で複式学級

1年生を含まない学級にあつては、14人以下で複式学級

※複式学級の学年の組合せについては、学校運営上変更することがあります。

今後について

平成 27 年度予算に、統合再編のための小学校新築もしくは増築のための設計予算を奈良市議会 3 月定例会に上程しています。議会で承認されると、平成 27 年度に、校舎等の設計が行われます。

その後の進捗計画については、単年度ごとの予算計上のため確約できるものではありませんが、現在の想定では、28 年度に建築、平成 29 年 4 月の統合再編を目途にしています。

新年度の協議会では、統合再編に向けた様々な内容について、より具体的な協議をしていただきたいと考えています。

市教育委員会事務局から協議事項を提案させていただき、協議を計画的に進めていただくとともに、地域の皆様の声をいただきながら、よりより統合再編を行ってまいりたいと考えています。

質疑応答について

(→市教育委員会事務局からの回答)

- ・統合先が中学校の場合、小中一貫教育はどのようなものになるのか。
→仮に統合先が都祁中学校の場合、施設一体型の小中一貫教育になります。例えば、中学校の外国語科教員が小学校で英語の指導を行うことなどが可能です。つまり、9年間を見通した小中一貫教育の利点を最大限生かして小学校と中学校のすべての教職員で子どもたちを育てることができます。しかし、運動場や体育館などが共用となることや、小学生用のプールや、遊具の設置場所、バンビーホームなど、検討しなければならない課題もあります。
奈良市では、来年度からすべての中学校区で小中一貫教育を行います。一つの中学校区に複数の小学校がある場合や、施設一体型ではない場合が大半となりますので、場所が小学校、中学校の何れであっても、状況に応じた形での小中一貫教育を行うこととなります。
- ・設計費については、小学校で統合をするのか、中学校でするのかを決めるものか。
→校舎を建設するための設計費です。したがって、統合する小学校の場所については、設計に入るまでには決定する必要があります。この設計予算は、統合する学校の場所が、都祁小学校又は都祁中学校の何れの場所となっても対応できる概算を予算としています。
- ・平成 29 年に統合するのは、保育園の「保護者としては安心であるが、それまでの期間、4 校に分かれて 2 年間過ごすことになる。この環境で、それぞれの学校の交流がない状態である。学校によって勉強の仕方も違うと思う。また、心理的な部分も心配である。
→統合校としてスタートすることができるまで、交流学习の機会をもつ予定です。4 つの小学校が 1 つの学校に集まり、行事や授業を一緒に行う交流学习は、子どもたちにとって大変有意義なものです。平成 27 年 4 月に統合する帯解小学校と精華小学校では、今年度、6 回の交流学习を行い、スクールバスによる通学のシミュレーションも行いました。

第 3 回学校規模適正化検討協議会の開催日時については、改めて後日お知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先
奈良市教育委員会事務局教育政策課
Tel 34-5386